

210 地球映像資料館（その4）：映像が記録した歴史（2023年11月9日）

オー＝ド＝セーヌ県立アルベール・カーン美術館が所蔵する写真と映像のアーカイブである[地球映像博物館](#)の中から、約100年前に日本で撮影された写真をご紹介します。このアーカイブには、映像も残されています。今回は、このアーカイブの映像の中から、日本の歴史の一片をご紹介します。

アーカイブの映像の中で私が最も印象に残ったのは、1921（大正10）年の皇太子裕仁親王のフランス訪問を記録した映像です。裕仁親王とは、昭和天皇（1901-1989/明治39年-昭和64年）（在位1926-1989）です。裕仁親王は、1921年3月3日から9月3日までの半年間、日本の皇太子として初めてヨーロッパを訪問しました。

公開情報を元に訪問日程の一部を抜粋すると、日程の詳細は次のとおりでした。3月3日に横浜港を出港し、香港、シンガポール、スリランカのコロombo、エジプトのカイロを経由して、5月9日にロンドンに到着。イギリスに滞在した後、30日にフランス北部のル・アーブル港に入港し、31日にパリに到着。パリでの日程は詰まっていて、6月1日にアレクサンドル・ミルラン大統領主催午餐会、2日にパリの凱旋門の下にある無名戦士墓地に献花し、設計者ギュスターブ・エッフェルの案内でエッフェル塔を視察、3日にルーブル美術館視察、アンヴァリッド（廃兵院）とナポレオンの墓を視察、4日にフォンテーヌブロー城で開催されたナポレオン没後百周年祭に出席、8日にヴェルサイユ宮殿の視察とオペラ座でオペラ「アイーダ」を観劇、10日にパリを出てベルギーのブリュッセルへ向けて出発。ベルギーとオランダを訪問した後、20日に再びパリへ戻り、21日にパンテオン、ノートルダム大聖堂、国民議会と上院を視察、メトロに乗車、22日にセーブル国立陶磁制作所を視察、23日にアルザス地方のストラスブールを訪問、24日にメッスを訪問、25日に第一次世界大戦の激戦地ヴェルダンを視察、パリへ戻って26日に大統領の案内でロンシャン競馬場を視察、28日にソルボンヌ大学を視察、7月1日にサンシール陸軍士官学校とル・ブルジェ空港を視察、3日にシャンパーニュ地方のランスを訪問、5日にパリの上下水道を視察し、7日にリヨンとマルセイユを経由して南仏トゥーロンへ到着。9日にトゥーロンを出発してイタリアのナポリへ行き、イタリアを視察した後、18日にナポリを出て帰路につき、9月3日に帰国。各地で歓迎式典や晩さん会が行われ、ハードな日程であったことが窺えます。

アーカイブには、この訪問に関する4本の映像が残されています。いずれも音声はありません。6月2日に撮影された映像では、凱旋門の下にある無名戦士の墓地の前で、軍服姿の裕仁親王がお言葉を述べられている様子が写されていました（写真左下）。また、6月4日にフォンテーヌブロー城で開催されたナポレオン没後百周年祭に出席したときの映像もありました（写真右下）。

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Paris, France, Visite officielle du prince Hiro Hito, AI12634



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Paris, France, Visite officielle du prince Hiro Hito, AI12651

別の映像には、裕仁親王の姿は映っていませんが、パリ8区のオッシュ通りとモンソー公園の門を確認することができます（写真左下）。オッシュ通りには、現在は日本大使館の事務所があります。1921年当時、現在の事務所がある場所には、大使公邸がありました。右下の写真は、街路樹が茂って建物がはっきりと見えませんが、映像で見る位置関係から考えて、おそらく当時の大使公邸ではないかと推測されます。裕仁親王は、大使公邸で開催された行事にも出席されたので、その時に撮影されたものかもしれません。



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Paris, France, Visite officielle du prince Hiro Hito, AI12640



© Musée départemental Albert-Kahn, Département des Hauts-de-Seine
Paris, France, Visite officielle du prince Hiro Hito, AI12640

私は、昭和天皇が、皇太子時代にヨーロッパを訪問されたという話は聞いたことがありましたが、地球映像資料館のアーカイブのおかげで、その時の映像を初めて見ました。日本にも当時の映像が残っていないか探してみたところ、NHKのアーカイブで、裕仁親王がエッフェル塔に上ったときの映像を見つけました。[NHK アーカイブ「皇太子時代の昭和天皇 欧州訪問」\(リンク\)](#)

私たちは、映像や写真を通して、より具体的なイメージをもって歴史的事実を知ることができます。私は、地球映像博物館のアーカイブを通じて、その時代の様子を写真や映像に残すことが、後世の人たちにとって貴重な遺産となることがわかりました。また、アルベール・カーンが、100年前にその必要性を理解した先見性の高さに改めて驚きました。現代の私たちは、貴重な記録を残すために私財を投じたアルベール・カーンの功績を忘れず、これを後世に伝えていく必要があると感じました。